

すすかけ1月号

令和7年1月 8日
所沢市立若狭小学校

未来を生きる力を育む ふるさと若狭

令和7年が始まりました。皆さま、本年もどうぞよろしくお願いたします。

子どもの頃の元旦の思い出は、親に新年の抱負を語るように言われたことです。まずは家族が膝を突き合わせ、「新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。」というあいさつです。その次に、なりたい自分、やってみたいこと、目標などを話します。そうしてようやく、お年玉がいただけるわけです。お年玉のためではありませんが、大みそかの夜には、明日の朝はどんな新年の抱負を話そうかと真剣に悩んだことを覚えています。

毎年、元旦は、どの朝とも違う清々しい空気を感じます。世界中が新鮮な気持ちに包まれているかのよう。今も戦闘のさなかにある国があり情勢は厳しさを増すばかりですが、それでも、新年のスタートである元旦くらいは、地球上のすべての人々が新たな希望を胸に抱いてほしいと祈ります。

「一年の計は元旦にあり」のことわざのとおり、元旦には、目標やなりたい自分の姿を思い描こうと2学期の終業式に話しました。若狭小学校の子供たちは新年の抱負を抱くことができたでしょうか。令和7年も、子供たちが未来に向かって成長するよりよい学校づくりのために、職員一同力を尽くしてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いたします。



学校運営協議会を本校で開催しました

今年度よりスタートした狭山ヶ丘中学校 3校で組織している学校運営協議会。1学期に学校の運営方針について承認を得、今回は、実際に本校での授業の様子を見ていただきました。

委員のみなさまからは、「子供たちが生き生きと学んでいる」「先生方がいろいろと工夫をして授業を行っていることがわかった」などの感想をいただきました。

協議では、学校と地域が共に育てたい子供の姿について意見を交わしました。地域に体験の場があると、子供たちの学びを生かすことができるという話、家庭で「おはよう」「おやすみ」のあいさつを交わすところから、あいさつができる子供を育てたいという話など、様々に話し合うことができました。子供は学校と家庭、地域がいっしょに見守って育てていくことが大切だということを学校運営協議会のメンバーが顔を合わせて確認するよい機会となりました。

